

*数々のテストでも必ず「トップ」の収量！
人気絶頂の超多収品種

マンモスイタリアンA・B

●マンモスイタリアンA〈長期利用〉

葉が大きく、茎の太い巨大種。晩生系で、暖地で秋まきし、翌年秋まで刈取利用できる。寒さや暑さに強く、夏枯れせず秋季まで旺盛な生育を続ける多収品種。水田裏作、畑地における周年利用、あるいは草地への混播用。

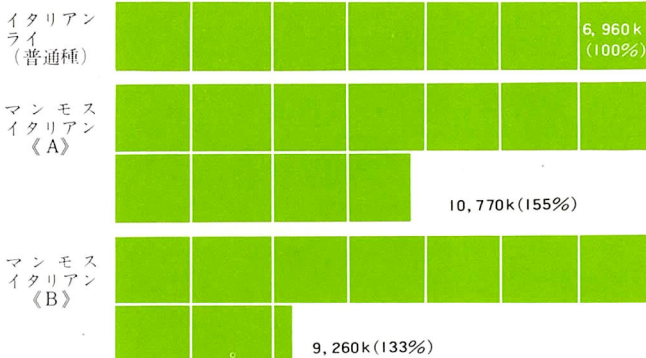
春まきの場合、その年は出穂せず、青刈利用のほかに応急の放牧用としても有効です。

●マンモスイタリアンB〈短期利用〉

マンモスイタリアンAと同様の巨大種。早生系で、初期生育早く1～2番刈はマンモスイタリアンAよりも収量多く短期利用及び早期利用に適す。故に寒地で春まき利用されるが、暖地でも混播草地への追播や畑、水田の前作として春まき利用のほかに、寒さに強いので水田や畑の裏作として秋まきし、翌春早期の利用にも適します。

生草収量

1,000キロ 2,000キロ 3,000キロ 4,000キロ 5,000キロ 6,000キロ 7,000キロ



8,000キロ 9,000キロ 10,000キロ 11,000キロ 12,000キロ 13,000キロ 14,000キロ
41.9.30播種・年間6回刈(12月～6月)



マンモスイタリアンは殆んど夏枯れしないことが分かりました。写真は真夏の生育状況で左はマンモスイタリアンAで良く生育している。右は普通種で、夏枯れを呈し、殆んど枯死する。